

# セルリー調査方法

## 1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項 目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)		4畝×12株=48株(4畝×7株=28株)	9.6㎡(5.6㎡)
調査対象(1区当り)	生育調査等	20株(10株)	4.0㎡(2.0㎡)
	収量調査等	20株(10株)	4.0㎡(2.0㎡)

\*: 栽植密度を畝幅50cm×株間40cm、a当り444株としたときの面積

## 2 生育調査

項 目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査	
発 芽	期	播種粒数の40~50%が発芽した日	C	観察	月日	1	
	良 否	発芽の揃い、発芽勢の程度を観察 [良]5~[不良]1	B	観察	指数	1	
定 植 時 の 苗 質	葉 数	葉長2cm以上の葉	A	測定	枚	1	
	葉 長	最大葉長	A	測定	cm	0.1	
生 育 (収穫期)	草 姿	[直立]5~[開張]1	B	観察		1	
	最大葉長	最大葉の基部から先端まで	A	測定	cm	0.1	
	第一節間長	最大葉の基部から第一節間まで	A	測定	cm	0.1	
	可食葉柄数	第一節間長15cm以上の葉柄数	A	測定	本	1	
収 穫	始 期	10%の株が収穫可能な日	C	観察	月日	1	
	期	40~50%の株が収穫可能な日	A	観察	月日	1	
	終 期	収穫を終えた日又は収穫打ち切り日	C	観察	月日	1	
	日 数	収穫始期から終期までの日数	C	算出	日	1	
生育日数		播種期から収穫期までの日数	B	算出	日	1	
障 害 の 発 生 程 度	病 害 虫 生理障害 抽 台	軟腐病、葉枯病、 アブラムシなど	障害の種類別に発生株率で 0: 無 発生が認められない 1: 微 10%未満の株に発生 2: 少 10~20%未満の株に発生 3: 多 20~40%未満の株に発生 4: 甚 40%以上の株に発生	A	観察	指数	1

### 3 収量調査(a当り)

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査	
障害株数		収穫不能な病虫害	B	測定	株	1	
収穫株数	規格内	出荷基準による	B	測定	個	1	
	規格外		B	測定	個	1	
	障害		B	測定	個	1	
	合計		B	算出	個	1	
規格別収量	規格内	2L	出荷基準による 2,000g以上	B	測定	kg	10g
		L	1,700~2,000g未満	B	測定	kg	10g
		M	1,400~1,700g未満	B	測定	kg	10g
		S	1,000~1,400g未満	B	測定	kg	10g
		計		A	算出	kg	10g
	規格外		A	算出	kg	10g	
	合計		A	算出	kg	10g	
地上部重		規格内株の 外葉重+株重	C	測定	kg	10g	
調製率		$(\text{規格内株重} / \text{地上部}) \times 100$	B	算出	%	1	
障害株 および 規格外株数割合	規格外	$(\text{各株数} / \text{栽植株数}) \times 100$	A	算出	%	1	
	内小株		B	算出	%	1	
	病虫害		A	算出	%	1	
	障害		A	算出	%	1	
欠株率		$(\text{栽植株数} - (\text{障害株数} + \text{収穫球数}) / \text{栽植株数}) \times 100$	B	算出	%	1	

### 4 特性調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
平均一株重		規格内収量 / 規格内株数	A	算出	g	1
葉柄色		[濃緑]5~[淡黄]1	A	観察	指数	1
す入り程度		最大葉の第三節間の中央を調査 [無]5, [白]3, [空洞]1	A	観察	指数	1
葉柄可食部の硝酸濃度		生育中庸な3~5株の中間の葉柄のミサー摩 砕汁または圧搾汁を計器により測定	C	測定	ppm	1
株の外観、食味 等品質評価	株品質	揃い等外観形質[良]5~[不良]1	A	観察	指数	1
	食味	香り、硬さ、繊維性、甘さ、多汁性および食味総 合 [良]5~[不良]1	C	観察	指数	1
	総合評価	[良]5~[不良]1	A	観察	指数	1

